

1 補足説明資料

(1) 概 要

資料 1-1 武庫川水系河川整備計画（原案）の概要

要 旨

本資料は、河川整備計画（原案）のうち整備目標や治水対策の考え方、動植物の生活環境の保全・再生への取り組みなど、特に重要な事項についての基本的な考え方を示したものである。また河川整備基本方針と河川整備計画の関係、河川整備計画と総合治水推進計画の関係、原案から計画策定までの流れについても分かりやすく整理した。

資料構成

武庫川水系河川整備計画（原案）の概要

- 1 これまでの経緯
- 2 河川整備計画とは
- 3 計画の目標
- 4 課題を踏まえた治水対策の選定
- 5 総合的な治水対策の推進
- 6 洪水に対する安全性のさらなる向上
- 7 動植物の生活環境の保全・再生
- 8 河川整備計画（原案）の構成など

河川整備計画(原案)の概要

む こ がわ

武庫川水系河川整備計画 (原案) の概要

- 1 これまでの経緯
- 2 河川整備計画とは
- 3 計画の目標
- 4 課題を踏まえた治水対策の選定
- 5 総合的な治水対策の推進
- 6 洪水に対する安全度のさらなる向上
- 7 動植物の生活環境の保全・再生
- 8 河川整備計画(原案)の構成など


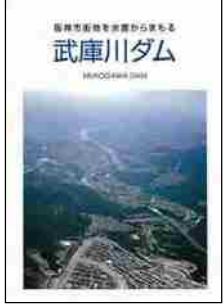






兵庫県

1 これまでの経緯

「武庫川改修計画平面図」(大正9年～昭和3年)

これまでの経緯

<p>昭和62年度</p>	<p>昭和58年洪水を契機に 尼崎・西宮・伊丹・宝塚市域 で河川改修事業に着手</p>	
<p>平成5年度</p>	<p>武庫川ダム建設事業に着手</p>	
<p>平成12年度</p>	<p>武庫川峡谷の自然環境に与える影響が大きいというダム反対の声が大きくなり、平成9年の河川法改正の流れもあって、 「合意形成の新たな取り組みを行うとともに、 総合的な治水対策についてゼロベースから検討する」 ことを兵庫県知事が表明(平成12年9月)</p>	

<p>平成15年度</p>	<p>学識経験者や地域住民の幅広い意見を反映させた計画を作成するため、「武庫川流域委員会」を設置 (平成16年3月)</p>	 <p>武庫川流域委員会</p>
<p>平成16年度</p>	<p>進めてきた河川改修事業の整備水準を超える規模の洪水が発生</p>	 <p>生瀬</p>
<p>平成18年度</p>	<p>武庫川流域委員会が提言書を知事に提出 (平成18年8月) <small>(説明用補足資料)資料5-2</small></p>	 <p>提言書を知事に提出</p>
<p>平成20年度</p>	<p>国土交通大臣の同意を得て「武庫川水系河川整備基本方針」を策定 (平成21年3月10日)</p>	

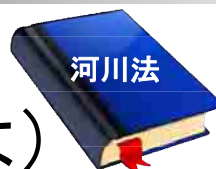


2 河川整備計画とは

明治10年頃の地形図

2 河川整備計画とは

河川の計画 (河川整備計画とは)



基本方針: 河川法第16条
整備計画: 河川法第16条の2

基本方針の目標達成に向けて
概ね20~30年間で実施する
河川整備の内容

河川整備の
最終目標

策定済

武庫川水系
河川整備**基本方針**

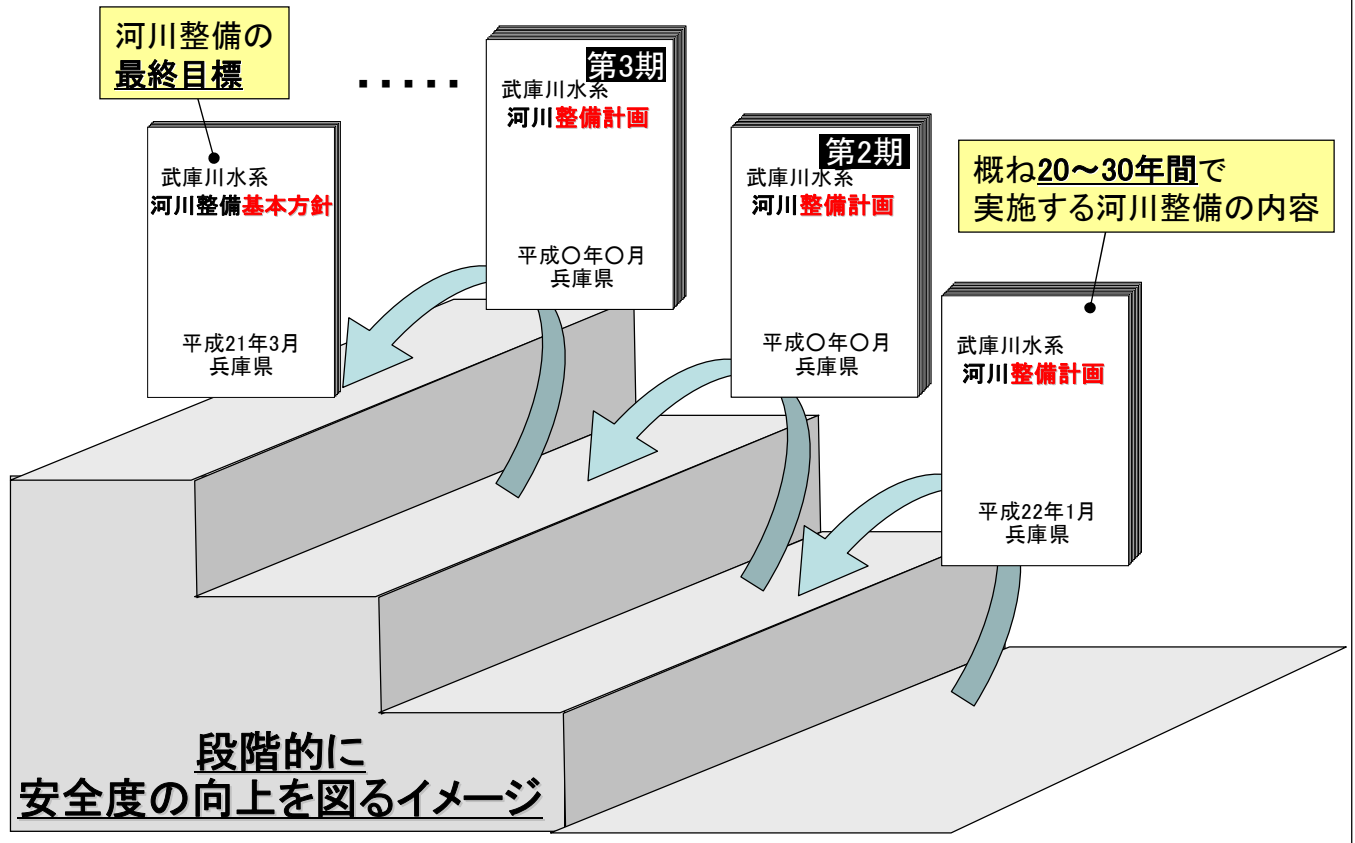
平成21年3月
兵庫県

今回

武庫川水系
河川**整備計画**
(原案)

平成22年1月
兵庫県

基本方針との関係を階段に例えると



段階的な安全度の向上

河川整備基本方針の整備目標を達成するには、物理的・社会的・財政的等の視点からみても多くの期間を要するため、20~30年間で全てを完成させることは困難である。



河川整備計画で、適切な整備目標を設定し、河川整備基本方針の整備目標達成に向け、段階的に洪水に対する安全度を向上させる。



昭和20年頃の地形図

3 計画の目標

計画の目標

河川整備の最終目標

目標流量 4,690m³/s

策定済

武庫川水系
河川整備基本方針

平成21年3月
兵庫県

基本方針の目標達成に向けて
概ね20~30年間で実施する
河川整備の内容

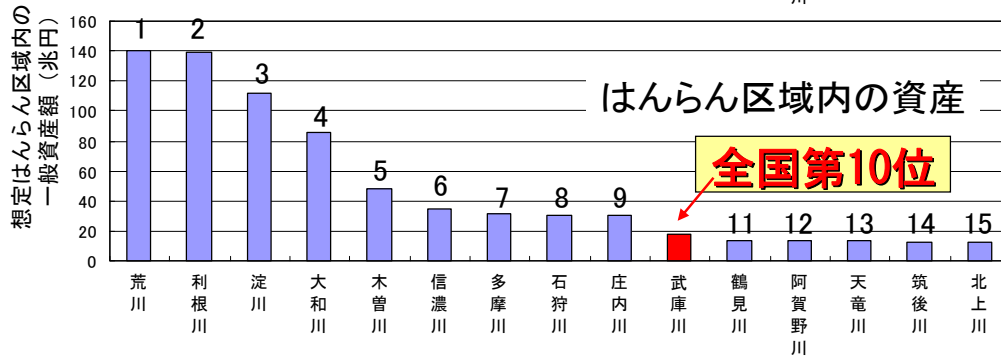
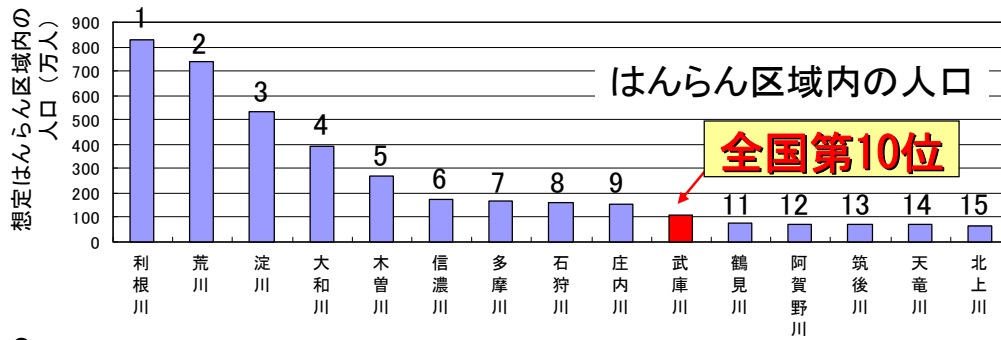
目標流量 ? m³/s

今回

武庫川水系
河川整備計画
(原案)

平成22年1月
兵庫県

国管理河川と肩を並べる 武庫川の想定はんらん区域内の人口・資産

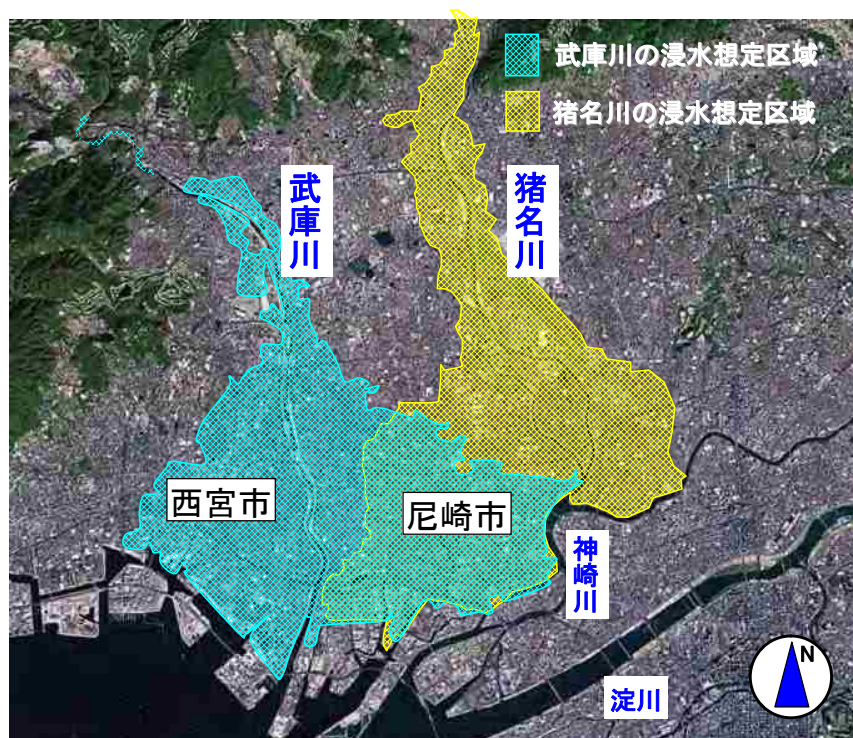


平成20年度 第8回河川現況調査より

全ての一級水系(109水系)及び主要な二級水系(100水系)を対象とした調査。

想定氾濫区域内人口・資産の上位15水系のうち、二級水系は武庫川のみ。

武庫川とはんらん区域を共有する猪名川



上位クラスの 国管理河川等の 目標水準

- ① 上位クラスの
国管理河川
- ② 武庫川と氾濫
区域を共有する
猪名川

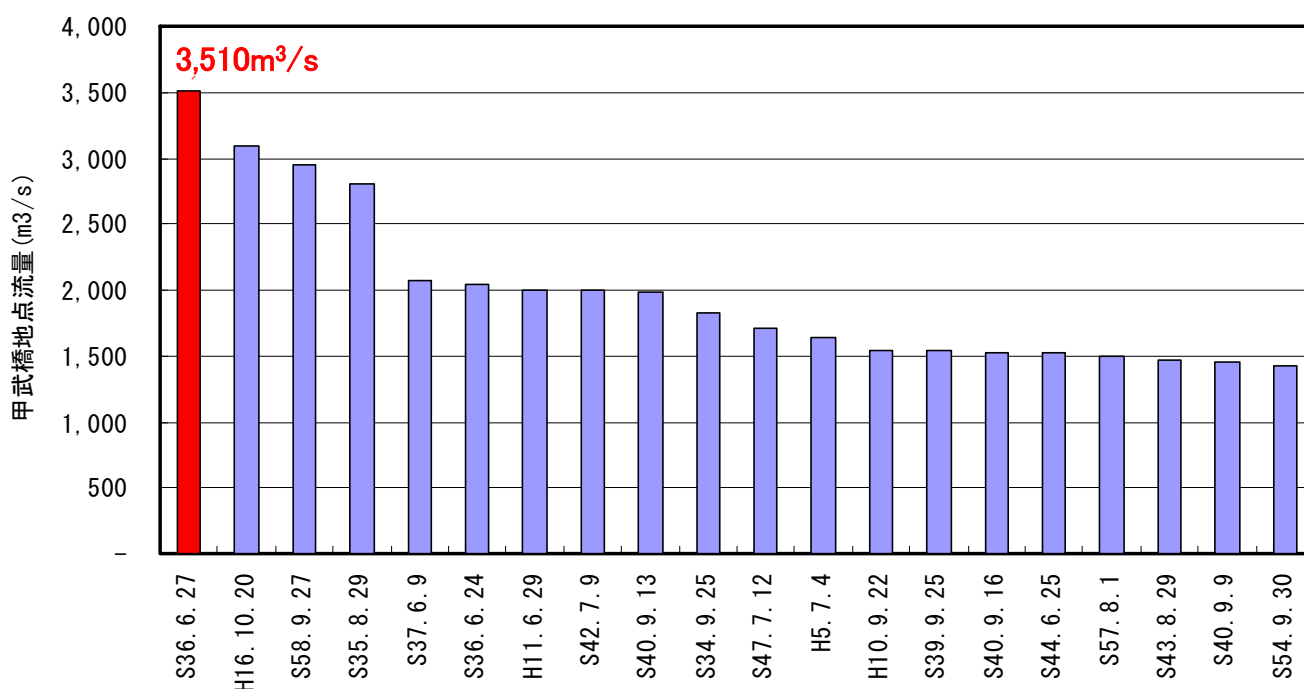
の目標水準



ともに
戦後最大洪水

水系名	河川整備計画の 目標水準 (平成21年8月時点)	想定氾濫区域内	
		人口順位	一般資産 額順位
荒川	(未策定)	2	1
利根川	(未策定)	1	2
淀川(猪名川含む)	戦後最大洪水	3	3
大和川	(未策定)	4	4
木曾川	戦後最大洪水	5	5
信濃川	(未策定)	6	6
多摩川	戦後最大洪水	7	7
石狩川	戦後最大洪水	8	8
庄内川	戦後最大洪水	9	9
武庫川	戦後最大洪水	10	10
鶴見川	戦後最大洪水	11	11
阿賀野川	(未策定)	12	12
天竜川	戦後最大洪水	14	13
筑後川	戦後最大洪水	13	14
北上川	(未策定)	15	15

武庫川の洪水流量上位20



計画の目標

河川整備の最終目標

目標流量4,690m³/s

策定済

武庫川水系
河川整備基本方針

平成21年3月
兵庫県

基本方針の目標達成に向けて
概ね20～30年間で実施する
河川整備の内容

目標流量3,510m³/s

今回

武庫川水系
河川整備計画

戦後最大の洪水である
昭和36年6月27日洪水と同規模
の洪水から沿川住民の生命や
財産を守ることとし、
目標の流量を3,510m³/sとする。

(説明用補足資料)資料5-3



4 武庫川の課題を踏まえた 治水対策の選定

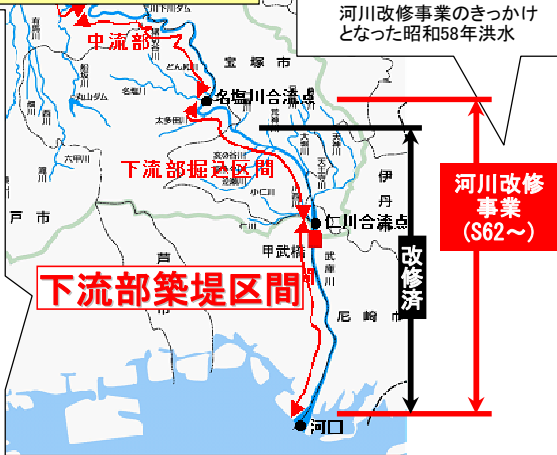
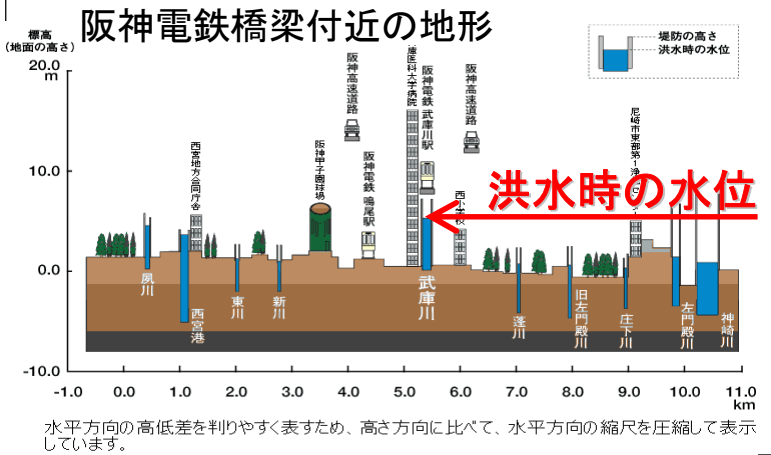
現在の地形図

下流部築堤区間の課題

仁川合流点より下流は、堤防により洪水氾濫を防ぐ築堤区間となっており、仁川合流点より上流の掘込区間と違い、ひとたび堤防が決壊すると、甚大な被害が想定される



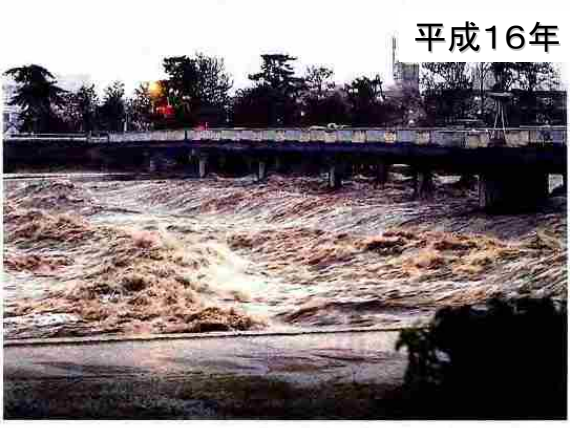
河川改修事業のきっかけとなった昭和58年洪水



河川改修事業 (S62~)

堤防の決壊には至らなかったが、昭和62年より進めてきた河川改修事業の目標流量 $2,600\text{m}^3/\text{s}$ を超える規模の洪水 $2,900\text{m}^3/\text{s}$ が平成16年に発生

武庫川増水 住民ら避難



平成16年 台風23号

道路崩れ、橋流失

「過去10年で最高の」

神戸新聞H 16. 10. 21

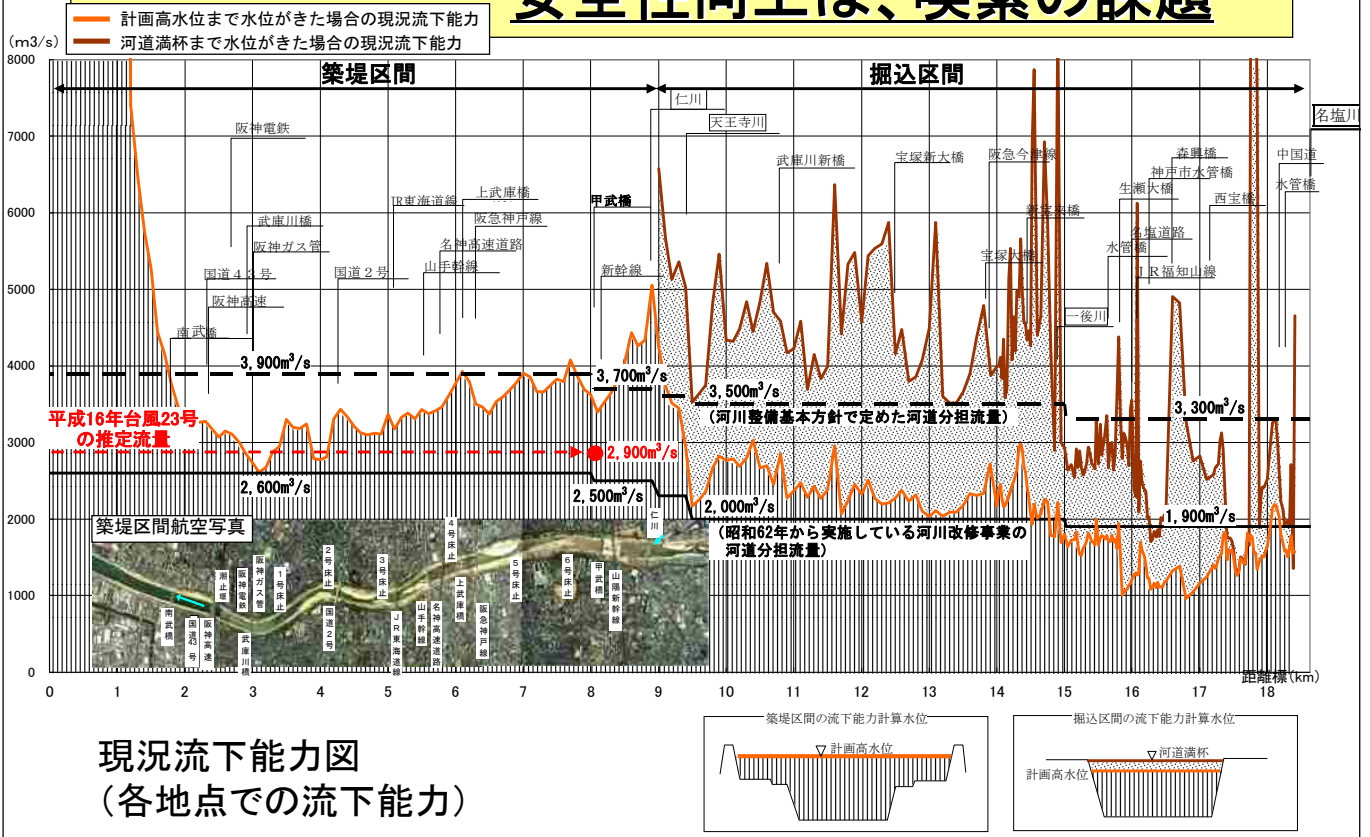


生瀬



阪神電鉄上流

① 築堤区間における流下能力の低い区間の安全性向上は、喫緊の課題



治水対策選定の考え方

どのような治水対策を組み合わせれば、基本方針の整備目標である4,690m³/sに向けて、
② 早期に安全性を向上できるのかについて検討



千叡ダムの治水活用 や 新規ダム建設 の課題

(1) 合意形成に多大な時間を要する

✓千叡ダムの治水活用



神戸市民の水道用水を貯めるためのダム



最近の少雨化傾向を踏まえ、渇水リスクへの対応を不安視する水道事業者との合意形成

✓新規ダムの建設



環境保全に配慮したとしてもなお、ダム選択への社会的な合意形成

(2) 完成するまでに十数年と時間を要し
その間は整備効果を発揮できない



① 下流部築堤区間の喫緊の課題に対応でき ② 早期に整備効果が発揮できる対策の選定

河川
対策

川底の掘り下げ等

(河口～JR東海道線下流等)



(説明用補足資料)資料5-4

堤防強化

(南武橋～仁川合流点)



(説明用補足資料)資料5-5

新規遊水地の整備

(武庫川上流浄化センター内用地)



青野ダムの活用

(予備放流による容量拡大)



(説明用補足資料)資料5-5

学校等での雨水貯留



流域
対策

- ・学校
- ・公園
- ・ため池

(説明用補足資料)資料5-6

下流部築堤区間において、戦後最大洪水の洪水である
昭和36年6月27日洪水の流量を安全に流下させることができる。

(参考)河川対策・流域対策の概算事業費*

川底の掘り下げ等・堤防強化＝約250億円、新規遊水地の整備・青野ダムの活用＝約30億円
学校等への雨水貯留＝約70億円、中上流や支川での改修＝約70億円

※事業規模をわかりやすく示すため、概ねの事業費を参考に記載した。実施時には現地状況を踏まえて詳細に検討し、工法等を決定するため、記載の事業費が変更になることがある。

さらに →

減災対策の実施

本計画の整備目標は、河川整備基本方針の目標達成に向けたあくまで途中段階の目標である。また、近年の気候変動等に起因する集中豪雨も多発傾向にある。



整備目標を上回る洪水や整備途上段階で河川の流下能力を超える洪水の発生に備え、

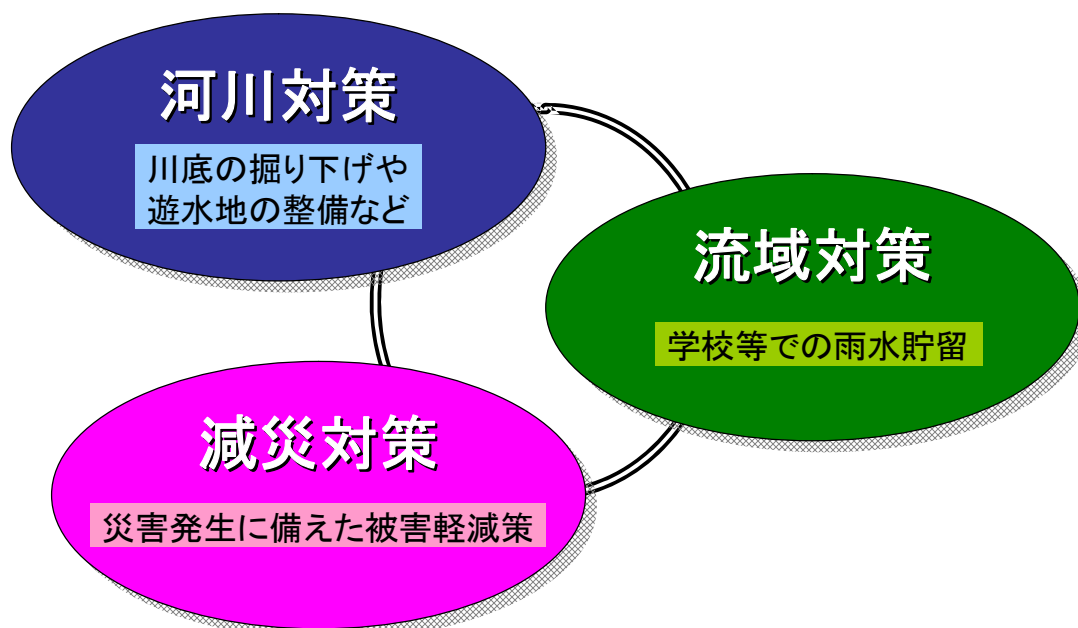
河川対策

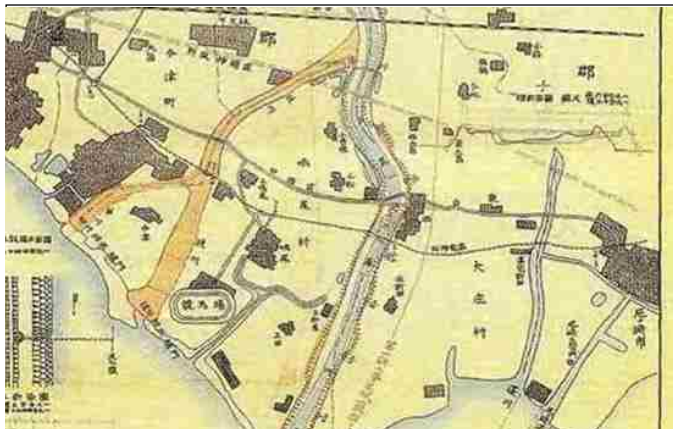
や 流域対策

減災対策

を実施し、洪水被害の軽減を図る

総合的な治水対策





5 総合的な治水対策の推進



5 総合的な治水対策の推進

総合的な治水対策の推進のしくみ



- ① 要綱の制定
- ② 県・流域市で構成する推進協議会の設置
- ③ 共同計画の策定

武庫川流域
総合治水推進計画
【県原案】

平成22年1月
推進協議会

兵庫県、神戸市
尼崎市、西宮市
伊丹市、宝塚市
三田市、篠山市

(説明用補足資料)資料5-8

武庫川の総合的な治水対策総括図



計画期間

河川整備計画の一般的な計画対象期間は
20～30年



早期に整備効果を得るため、
最短の20年に設定

6 洪水に対する安全度のさらなる向上

昭和58年洪水時の阪神電鉄橋梁付近

6 洪水に対する安全度のさらなる向上

洪水に対する安全度のさらなる向上

平成21年8月には、千種川水系の佐用川で、過去に経験したことのない大きな洪水が発生



このような現実を踏まえると、多くの人口・資産を抱える武庫川では、河川整備基本方針の目標達成に向けて、洪水に対するさらなる安全度の向上が必要



千苅ダムの治水活用、武庫川峡谷での新規ダム建設等について、

- ①その必要性・実現可能性の検討を継続
- ②具体的な方向性が定まった場合には、計画上の取り扱いについて検討

兵庫各地で記録的豪雨



県西部に避難
佐用町で2

県西部の豪雨で、佐用町では、千種川が氾濫し、多くの住民が避難した。佐用町では、千種川の氾濫で、多くの住民が避難した。佐用町では、千種川の氾濫で、多くの住民が避難した。

神戸新聞H21.8.10



7 動植物の生活環境の保全・再生

7 動植物の生活環境の保全・再生

武庫川水系に生息・生育する生物及び
その生活環境の持続に関する2つの原則

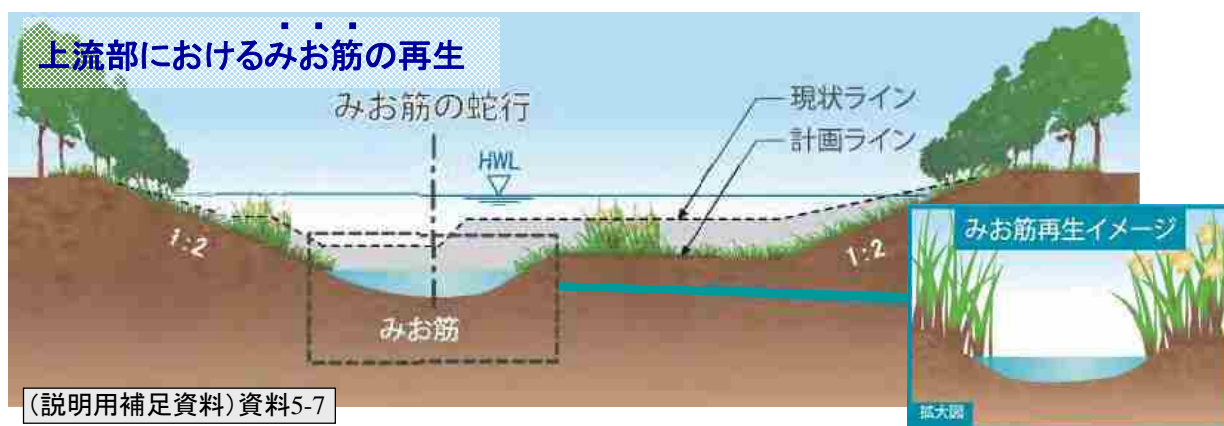
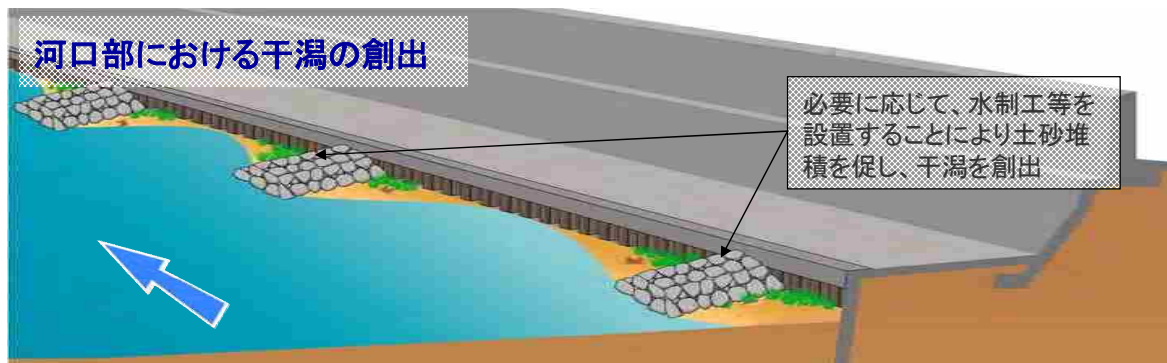
【原則1】流域内で種の絶滅を招かない

【原則2】流域内に残る
優れた「生物の生活空間」の
総量を維持する



河川整備の際には、この原則を踏まえ、
河川環境の整備と保全を適切に行う。

「2つの原則」に基づく環境への配慮例



策定済

武庫川水系
河川整備**基本方針**



平成21年3月
兵庫県

長期的な最終目標



段階的に安全度を向上
させる整備内容

今回

武庫川水系
河川**整備計画**
(原案)



平成22年1月
兵庫県

(説明用補足資料)資料5-9

武庫川の総合的な治水対策 を進める3つの計画

- ①武庫川水系河川整備**基本方針**
- ②武庫川水系河川**整備計画**(原案)
- ③武庫川流域総合治水**推進計画**(県原案)

今回

武庫川流域
総合治水**推進計画**
【県原案】



平成22年1月
推進協議会

兵庫県、神戸市
尼崎市、西宮市
伊丹市、宝塚市
三田市、篠山市



なぜ原案か

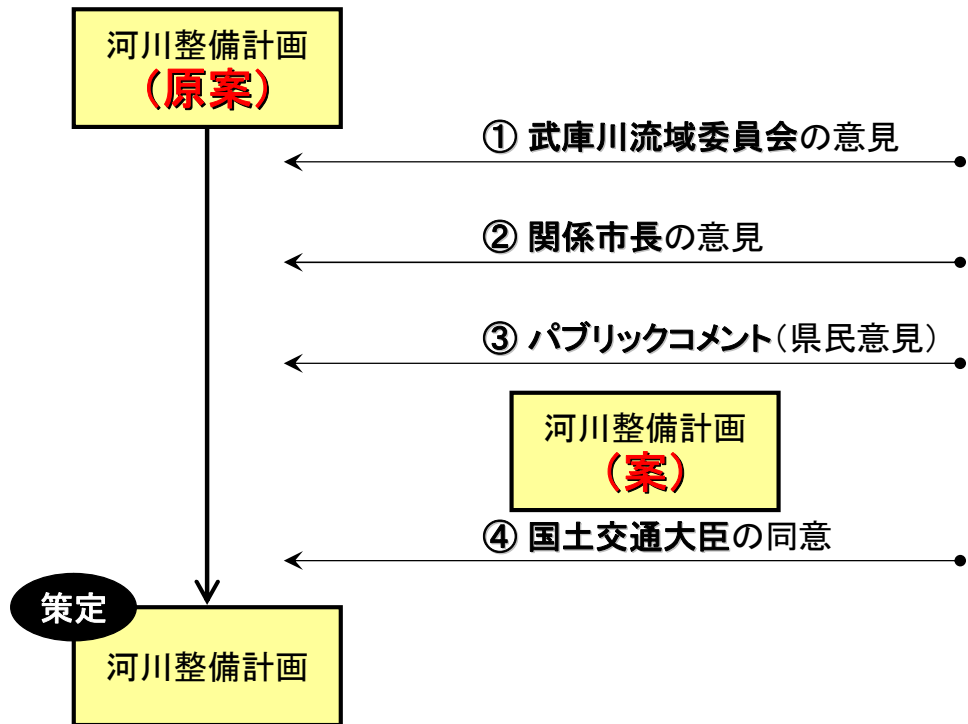
基本方針の目標達成に向けて
概ね**20~30年間**で実施する
河川整備の内容

今回

武庫川水系
河川**整備計画**
(原案)

平成22年1月
兵庫県

原案から計画策定までの流れ



武庫川水系河川整備計画(原案)の構成

章構成	内容
第1章 はじめに	全体の要約
第2章 武庫川の概要	現状と課題
第3章 河川整備計画の目標 に関する事項	目標
第4章 河川整備の実施 に関する事項	実施内容

終

ここまでの説明内容を中心に、「河川整備計画(原案)」等を見ていただきながら、続けて説明していきます。

